

令和6年度第2回京田辺市立老人福祉センター運営協議会

- 1 日時 令和7年2月18日(火) 午前9時30分～10時30分
- 2 場所 宝生苑 ふれあいルーム
- 3 出席者 委員8名
- 4 欠席 委員2名
- 5 傍聴者 なし
- 6 事務局 4名
- 7 内容

- ・委嘱状交付
- ・会長あいさつ
- ・議事

(1) 老人福祉センターの利用状況等について

令和6年度利用状況及び路線バス利用助成

〈質疑〉

委員：宝生苑においては風呂の利用が一番多いのか。

事務局：風呂の利用は多いが、同時に他の施設も利用される。

委員：路線バス利用助成では、往復のバス料金額とするよう要望する。

(2) 令和7年度老人福祉センター サークル登録について

〈質疑〉

委員：宝生苑では、新たにマージャンのサークル登録があるが、用具はあるのか。

事務局：サークルの持参となっている。備品として購入の予定はない。常磐苑においてもサークルが用意している。

(3) 大住ふれあいセンターの整備状況について

〈質疑〉

委員：パブリックコメントの周知について

事務局：ホームページに掲載し、宝生苑では令和6年末まで縦覧していた。

大住ふれあいセンター整備基本構想は、パブリックコメントによる大きな変更はなかった。

委員：パブリックコメントでは風呂の継続希望が多かったのではないか。

事務局：風呂を利用している方の中では継続してほしいという意見があったが、新たに風呂を利用したいという方の意見はあまりなかった。風呂の老朽化により、継続するためにはかなりの経費がかかる。アンケートで

は、宝生苑を以前に利用したことがあるがその後利用していない方が多かった。そういう方が利用しやすいように、特に目的がなくとも来れて、他の利用者とふれあいができる場として基本構想を策定した。施設的に増築ができないので、希望が出ているいろいろな活用を検討すると何か機能を減らす必要がある。

委員：運営について現在の利用者の意見を聞くことが必要ではないか。

事務局：令和7年度から8年度にかけて利用者の意見を聞き、運営方法を検討していく。

委員：利用時間は延長されるのか。

事務局：時間延長・日曜日が利用できるように検討する。

委員：工事期間中、グラウンドゴルフはどうなるのか。

事務局：工事が始まるまではグラウンドゴルフ場で継続できるように調整している。それ以降については工事車両が出入りするので、安全面を優先し施設は利用できないが、代替え案を検討している。

委員：活動できなくなるサークルが出てくるのか。

事務局：リニューアル後は、誰でも参加できるオープンな活動はできる。メンバーが限定されるサークルについては検討中だが、利用に費用がかかるようなことも出てくると思う。工事中における活動の継続は、検討中である。

委員：いろいろなことを複合的に参加できるようにすれば、利用が増えるのではないか。

事務局：複数のことを実施することによって、目的無く来られても何かに参加ができることが非常に大事な考え方と思っている。京田辺市民であれば誰でも個人単位で、気軽に利用できる場としたい。

(4) その他

〈質疑〉 なし

- ・ 閉会あいさつ（副会長）